

十勝均整社通信 号外

生活者の立場で、**手作り酵素の歴史と体験報告**そして**各種情報**などをもとにした**蓋然的**考えに基づいて書いています。

手作り酵素と海の精で 風邪の予防を！

新型コロナウイルスは一般的な認識として2019年12月に武漢市で発生して、武漢から世界に広がっていったと言われています。

3月22日現在で累計感染者は、日本国内で45万7781人。世界中では1億2299万2844人。

まだまだ収束する気配は見えません。

ワクチンの接種はいつになるとか、抗寄生虫薬のイベルメクチンが予防、治療に効果的だという事例が使用国から多数上がっているのに、利益にならないから承認しないとか、色々な話が聞こえてきます。（乱暴な言い方ですが、マスクを配るより政治的判断で希望者にイベルメクチンを提供した方が良かったのではと思います）

それはさておき、ここでは各自が行う一般的な風邪、インフルエンザ、新型コロナ対策（手洗い・マスク・生活習慣など）は当然のこととして、35年以上の普及活動の中での体験と報告から**手作り酵素と海の精**を活用した、対策法を考えていきます。

◆35年の実体験から考えられること

手作り酵素を真面目に飲んでいる人は、風邪をひきにくくなる（もしくはひいても軽度）。海の精でうがいをする、喉の痛みが楽になる。海の精で点鼻をすると、鼻の通りが楽になり、呼吸がしやすくなったり、花粉症の症状が楽になる。海の精を火傷や傷口、虫刺されの直後にすぐ塗ると、痛みが引いて、傷や腫れの治りが早かった。

といった体験報告は、均整社によく寄せられます。

これらのことをよく考えてみると、手作り酵素や海の精は、風邪の症状や炎症の軽減に効果的ではないか

主な参考文献

原因不明の病気が治る 堀口申作著 光文社
病気が治る鼻うがい健康法 堀田修著 角川MKTG
痛くない鼻うがい 堀田修著 KADOKAWA
免疫と「病」の科学 宮坂昌之・定岡恵著 講談社
地球をめぐる不都合な物質 日本環境化学会編著 講談社
闘う微生物 E・モノッソン著 築地書館
子どもの人生は腸で決まる J・ギルバート他著 東洋経済
人類の命を救う手作り酵素の本 河村文雄著 十勝均整社 など

と思わざるを得ません。

◆手作り酵素を飲むと、風邪をひきにくくなる

これは手作り酵素が腸内細菌の餌となり、俗にいう善玉菌が腸内で優勢となり、ヒトのカラダの**免疫細胞の7割が集中**している腸内環境を活性化するのはないかと思われます。

「シリーズ 人体 神秘の巨大ネットワーク

第4集 万病撃退!“腸”が免疫の鍵だった」でも

「**腸内細菌**」が、**腸に集結する「免疫細胞」と不思議な会話を交わしながら、私たちの全身をさまざまな病気から守る「免疫力」をコントロールしている**。と書いていました。

手作り酵素は最低でも1日60ccは飲みましょう。

私（高澤）の飲み方

- | | | |
|-----|------|--------------------|
| 1回目 | 7時半頃 | 約30cc（朝食代わり） |
| 2回目 | 10時頃 | 約30cc（ちょっと小腹がすく時間） |
| 3回目 | 15時頃 | 約30cc（3時のおやつタイム） |

いちいち計量カップで計りませんが、100cc前後は飲んでいきます。因みに健康診断で糖尿病になる恐れがあるとは一度も言われたことはありません。

ただ手作り酵素もたくさん飲んで、間食（ケーキやお菓子、ジュース類など）が多かったり、普段の食事の量が多い（もしくは暴飲暴食をしている）人は、検査に引っかかる恐れがあるので、食生活を改善してください。

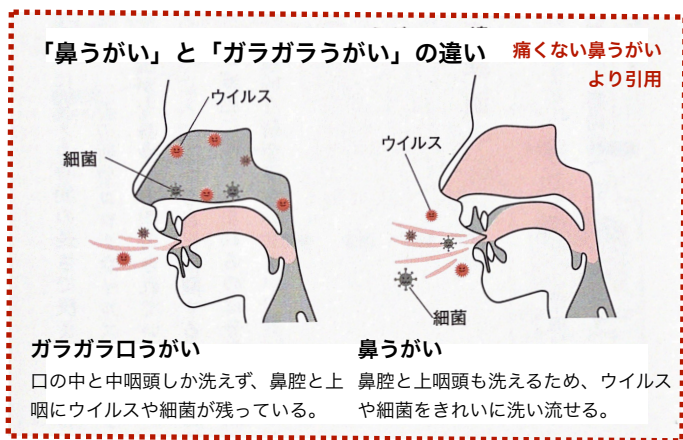
◆海の精で点鼻をすると呼吸が楽になり、花粉症の症状もラクになる

均整社には海の精の点鼻で様々な症状が改善した

の体験報告が多く寄せられますが、その鍵を握っているのはスバリ**上咽頭**（右ページ参考資料参照）だと思います。

痛くない鼻うがい健康法では、「エビデンス（科学的根拠）はまだないものの、新型コロナウイルス感染症対策としては、「のど風邪」にならないことと、「のど風邪」を早めに治すことが重要。「上咽頭」は左右の鼻腔を通過した空気が合流して下方向に流れが変わるため、ウイルスを含んだ空気が溜まりやすい場所なのです。**免疫細胞が密集**していて、外からウイルスが入ってきたときには感染を防いでくれる」とあります。

また喉のガラガラうがいは「一般的な風邪などを予防する効果はある」とあります。



因みに胃の中は強酸なので、ピロリ菌などを除けば胃に入った微生物は死滅するので、ガラガラゴクンや点鼻で飲み込んでも問題ありません。

上咽頭が慢性的に炎症を起こしていると、免疫が暴走して、風邪の症状も、強く、長引き、新型コロナウイルスの症状も悪化するのではといわれています。

おそらく海の精のうがいや点鼻は、上咽頭、中咽頭を洗浄して炎症を抑え、かつ口の中も洗浄できるので、かなり効果的な風邪の予防と症状の改善に役立つのではと推測されます。

「炎症を抑え」とは、前述した火傷や切り傷、虫刺されなどの炎症が海の精を塗布すると「驚くほどはやく軽減した」という多数の体験報告からも推測されます。

とにかく「**慢性炎症は万病のもと**」といわれていますので、海の精での鼻やのどの洗浄をしておくことが大切です。

また一般的な鼻うがいのやり方に関しては、**弊社の植原**にお問い合わせください。

◆**手作り酵素**とオリーブオイルで常在菌の保護

風邪の予防ではないのですが、新型コロナウイルスが世界的大流行を起こしてから、手指をアルコール消毒することが日常化しています。

そのため、皮膚の常在菌が少なくなり、今後様々な健康被害も予測されております。

常在菌の保護と補充のために、**手作り酵素（4）とオリーブオイル（6）の割合（100ccなら手作り酵素40cc、オリーブオイル60cc）で混ぜて**、お風呂上がりなどに、手指によく塗り込むことをお勧めします。その際、ベタベタが気になる方は、タオルなどである程度、拭き取ってからお休みください。

手作り酵素は自分の常在菌の塊のようなものなので、手指消毒が日常化し弱った常在菌や皮膚の保護にも役立つと思われます。（他人の酵素でも大丈夫です）是非ともお試しください。

以上、非常に簡単ではありますが、長年の歴史と愛好家の皆様からの体験報告に基づき、手作り酵素と海の精を使った風邪の予防法と、その説明を、一般の生活者の立場で書かせてもらいました。

通常の風邪はもちろん、インフルエンザや新型コロナウイルスは誰がいつ罹患しても、おかしくないものです。

最善の予防策を講じて、万が一罹患しても軽い症状ですむような、カラダづくりをしておくことが大切です。

免疫細胞の集中・密集している腸と上咽頭を、手作り酵素と海の精で日常的にケアして、免疫を正常に働かせて、皆様も日々を健やかに過ごしてください。

人類と新型コロナウイルスが共存できるようになるその日まで、頑張りましょう！

行く（1月）・逃げる（2月）・去る（3月）とはよくいったものではやくも3月の下旬です。毎年3月4月は全国各地の講習会で帯広を留守にする機会が多く、集中して通信を作成することができません。今回は講習会などで、いま、手作り酵素の愛飲家の皆様にお伝えしたいことを号外という形で書かせてもらいました。次回125号は全国講習会が全て終わる5月上旬に発送予定です。よろしく願いいたします。